イラストコーナー

このコーナーでは、皆さんからのお便りをお待ちしています。
どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。

《あて先》〒861－3296 御船町役場「おたより」係　※住所を書かなくても届きます。

《Eメールアドレス》 **kanri@town.mifune.lg.jp**

※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。

まちへのラブレター

国勢調査で今回インターネットやスマートフォンで出来る事に。息子に話したら、やってくれました。前回まで書いても回収待つのが便利に。他にも出来る事いっぱいありますね、インターネット。

（御船・Kさん）

国勢調査にご協力いただきありがとうございました。全国36・9％の世帯の人が期間中にインターネットで回答し、御船町でも1，660世帯、約26・7％（前回調査から算定）の回答率となりました。インターネット回答が可能になることで、若い世代の人からの回答も増えたように感じます。今後も引き続き、統計調査へのご協力をお願いします。

（行革推進係）

イラストはたてに描いてね



中村　美月 さん



長木ゆきよ さん



田邉　千咲 さん

御船高校 NOW

ミニ工業高校!!　電子機械科





電子機械科は、それまでの機械科・電気科を廃止し、昭和61年4月1日に新設されました。学習内容も「機械・電気・電子・情報」の四分野を一学科で学ぶことができる、県内でも数少ない学科です。そして何より一学年2クラス80人という少人数ゆえ、ひとり一人の活躍の場が多いことが特徴としてあげられます。

科の特徴を活かした部活動では、マイコン制御部があります。ロボット班は全国制覇通算9回を誇り、マイコンカー班は九州大会に毎年出場しています。

また、高校生が主体となって企画・運営する、御船高校杯中学生ロボット大会や小学生ものづくり教室では、児童や生徒が楽しみながら電子工作に取り組んでくれています。

これからもミニ工業高校の優位性を活かして、生徒の個性伸長に取り組んでいきたいと思います。

芸術コース卒業演奏・制作発表会のご案内





音楽、美術デザイン、書道の3つの専攻を有する御船高校芸術コースでは、3年生による卒業演奏会（音楽専攻）、卒業制作発表会（美術デザイン専攻・書道専攻）を開催しています。各専攻とも、3年間の学習の成果として多くの生徒が様々な公募やコンクールで入賞を果たしており、発表はどれも聞き応え・見応えのあるものばかりです。ぜひ皆様お誘いあわせの上、会場で芸術の秋を満喫してみませんか。

会場　御船町カルチャーセンター
【書道専攻】卒業発表会
12月5日㈯～12月10日㈭
【音楽専攻】卒業演奏会
12月15日㈫　18：00 開場
18：30 開演
【美術デザイン専攻】卒業発表会
12月15日㈫～12月21日㈪

〒861-3204
御船町木倉1253番地
☎ 282-0056
fax 282-1286
e-mail
mifune-h@pref.kumamoto.lg.jp

文芸　ひとひねり

短歌

戦争にて九死に一生得し人の今明かされる秘話と実話を　甲斐れい子
規格外のじゃがいもゴロゴロもったいない馬鈴薯掘り機（ポテカルゴー）に置き捨てられて　金森　英子
唐突に鳴き出したる法師蝉小さき体に纏う紗の翅　平野　文子
在りし日の父に倣（なら）いて写経始む遺影を前に語りかけつつ　藤本　京子
この戦負けると言える母をなじり反抗したり少女の吾は　正宗タツ子
杖つきて一歩踏み出す朝一番思わずも出（い）づ「どっこいしょ」と　山本志満子
振り向けば来し方の道見えて来るそんな気がする秋の夕暮れ　市川　結子
霊魂（たましい）はお盆十三夜に帰ると言う迎える灯籠ゆうらゆらゆら　奥田利恵子

俳句

御船春菊句会　水野つとむ選

万田坑ガイドの余談ホクの旅　丹生　則子
石人は親しみ易し小鳥来る　黒田　順子
コスモスと分かちあってゐる日和　さとうともこ

悠久の丘に幾万秋桜　緒方　栞
太古より月は夢をば掻き立つる　吉田登美子
つい声をかけたき風情ある案山子　渡辺ケイ子
小鳥来る村にしあはせ連れて来る　緒方　宣子
秋彼岸心して聞く法話かな　守田　律子

肥後狂句

天狗会

大型台風　食い入るように見る予報　増永　笑和
いらっしゃい　商売用の声に替え　河地　ゆき
すれ違い　スッピンだけん気付かれん　林田　実花
勘の良さ　秤のごたる手持っとる　藤本　好水
虎視眈々　カラスも来とる墓参り　川部　呉穂
いらっしゃい　魚もいきのよかごたる　吉田　楽園
頭痛の種　収穫前に猪の害　木村　道草
頭痛の種　誰も面倒みらんげな　田中　穂波

一般投稿

ノーサイド　ふるえる心　風爽やか　山　紫
人生も泣きつ笑ひつ九十年生きて倖せ黄金の日々を　松岡フミヱ